

中学部 第1, 2, 3学年 美術科「楽しく伝える文字のデザイン」学習指導案

単元の目標	・身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、文字の視覚的効果について考える。【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝えたい内容と関連した文字のイメージを構想し、伝達デザインのよさや楽しさを味わう。【思考力・判断力・表現力】
○日本語支援 ●多文化共生の視点	○制作作品の解説記入や作品の相互鑑賞を通して、表現する側の思いや受け取る側の心情を、相手にわかりやすく伝える方法を身に付けることができるようにする。 ●本単元では、多文化社会中で生きる力として創造力の育成を図る。最初にある文字（漢字や片仮名など）をより相手に伝わりやすくするためには、どうすればよいのか考えることで、創造力の基礎を身に付けることができるようにする。 ●漢字や片仮名などを読むことができない人にも伝えられるデザインを考えることで、多文化社会での生活を意識し、そこで伝える創意工夫の楽しさを味わえるようにする。

単元の指導と評価の計画

	学習内容に即した評価基準	評価方法・対象等
第1次	デザインされた文字の鑑賞 アイデアスケッチ	鑑賞のようす 記述内容 ・行動観察 ・ワークシート
第2次 (本時)	スケッチの相互鑑賞 作品制作	鑑賞のようす 制作のようす ・行動観察 ・制作途中作品
第3次	作品制作 制作作品の解説記入 作品の相互鑑賞	制作のようす 記述内容 鑑賞のようす ・完成作品 ・行動観察 ・ワークシート

本時の学習

(1) ねらい 言葉のイメージを考えて、イメージに合わせたデザインを考えることができる。

(2) 準備

(教師) 参考作品、画用紙、ワークシートなど

(生徒) 教科書、筆記用具、フェルトペン、色鉛筆など

(3) 展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (☆多文化共生の視点)	評価基準(方法)
1. 前時の振り返りをする アイデアスケッチの相互鑑賞	☆グループで回覧し、それぞれのスケッチから工夫を感じ取らせながら、他者の作品を認め、自分の作品に対するこだわりももつことができるようにする。(寛容性)	・アイデアのよさや表現の工夫を感じ取るとともに、自分の作品にも活かそうとしている。(行動観察)
2. 文字のデザインを決定し、画用紙に丁寧に描く。	・スケッチの中から、自信作を選び、意欲的に制作活動に取り組むことができるようにする。	・配置や線の太さ、明暗の表現、視覚的効果などを意識して表現できている。(作品)
3. 完成した自作品について、解説や思いなどをワークシートに記入する。	・制作途中も生徒と対話し、伝えたい場面やイメージを思い描きながら取り組むことができるようにする。(創造力)	・イメージに沿って粘り強く制作に臨んでいる。(行動観察)

ワークシート

(年 氏名)

○2つの文字を比べ、文字のデザインの効果について考えましょう。

比べたもの（ と ）
効果

○お気に入りの文字のデザインを一つ選び、感じ取ったデザインの工夫、製作者の意図について考えて書きましよう。

作品名 () の中の () の文字

感じ取ったこと・考えたこと

○テーマ「運動会」

言葉のイメージを考えてアイデアスケッチをしましょう。

例：熱い 走れ 燃えろ 応援合戦 フレーフレー 徒競走 青島体操 ダダダッ バシッ

※下書きなので、丁寧さよりたくさんアイデアを出すことを目指しましょう。

--	--	--	--

○自作品に選んだスケッチに赤で番号をふり、解説や思いなどを記入しましょう。

番号	解説や思い

～メモ～

考察

〈成果〉

- ・ 友達の作品を鑑賞することで、自分の作品に生かすことができていた。
- ・ 友達のアドバイスを受けて、自分の作品に自信をもつことができていた。
- ・ 自分の作品のいい所を確認して作品作りに取り組めた。
- ・ 漢字の形の良さを上手に生かしている生徒や形を少し崩すことで表現を豊かにする工夫をする生徒もあり、多様な作品を見た上で自分の作品にこだわりを持つことができていた。

〈課題〉

- ・ 3時間のうちの2時間目の授業を研究授業としたため、作業時間が長く、鑑賞やお互いの認め合い（寛容性）を育む場面はあまり見られなかった。
- ・ 技能や表現を評価しようとしても、教師の意見をそのまま使う生徒もあり、表現の豊かさを制限することもある難しさを感じた。

